

熊本地域医療センターだより

当院HPは
こちらから



院長 杉田裕樹

令和3年(2021年) 4月発行

熊本地域医療センター電話番号(代表) 096-363-3311 FAX 096-362-0222

〒860-0811 熊本市中央区本荘5丁目16番10号 <https://www.krmc2.org>

2021 5 月号 通算192号

熊本地域医療センター 理 念

かかってよかった。
紹介してよかった。
働いてよかった。
そんな病院をめざします。

contents

「友達の輪～Relay トーク第10弾」	…… P1
退任挨拶	…… P2～3
コロナ禍の薬剤部	…… P4

「友達の輪～Relay トーク 第10弾」

明午橋内科クリニック もりした 森下 ゆうこ 祐子



今回、友達の輪に呼んでいただきありがとうございます。明午橋（白川にかかる電車通りのひとつ立田山側の橋）のたもとで内科・消化器内科をしています森下と申します。

祖父がつくり両親が守った理容店を継いで、家族や先輩方・同僚の先生方の応援で2013年9月にクリニックを始めました。しかしその後、2016年の熊本地震、昨年からのコロナ禍と困った事案が多く、その度に医師会の担当様、先生方にたくさんの助言に支えていただきました。地域医療センターは、そのような受難にも耐えて、さらに日々の診療面で専門性の高い各科が救急にもご対応頂けるありがたく頼れる医療機関として、常に感謝しています。自分が勤務医時代に嫌っていた金曜日16時の急患のご依頼までも、快く受けていただける先生方、スタッフの方々、本当に申し訳ございません。以前第3内科があったころ11時から朝まで外来担当にお伺いして、小児科の担当医が深夜も診療されている真摯な姿を見ていました。近日は出動協力医の名目で呼んでいただいた機会に、知恵が詰まった仕組みを勉強させ

ていただいています。特にこの感染症対策については個人では思いつかない外来の組み立てを目で見て学べて、大変ありがとうございます。このコロナ感染症で医療も日常も高スピード大きく変わっています。外来は電話診療、学校医でも非接触検診と置き換わって、対面に比して医療レベルが落ちないように緊張。また感染対策情報や公的申請もオンラインに変わり、慣れないアプリでの書類作成に格闘。学会の講習会、新薬の勉強会も Web に代わりこちらは交通の時短ができ安堵。TV やネットの報道からは情報過多なのにこれらの業務対応は交流が止まって情報不足のため一人での判断に困ることも頻繁です。その度出動協力で出かけた地域医療センターで新たなアイデアをもらってどんなにか助けられたでしょうか。まだまだ変化は続きますが、皆様の後からついて行けたらと思います。

この次は医師会で活躍されている宮本外科・消化器内科の宮本大典先生です。この3月20日に医師会病院の同時時間帯出動協力勤務でご依頼したところ快くお受けいただきました。高校生の制服姿といつまでも変わらない先生です。よろしく願いいたします。

退任挨拶



外科

おがわ だいすけ
小川 大輔

2020年4月から1年間勤務させていただきました。赴任してきた当初はちょうど熊本に新型コロナが蔓延してきた頃でした。病院が大きな損失を受けることもありましたが、

病院が一致団結してコロナ対策に取り組み、今までにない貴重な経験をすることができました。最初は新しい環境で不安もありましたが、外科の先生方の熱心な指導の下、多くの症例を経験させていただくことができ、充実した日々を送ることができました。特に他の病院ではあまり経験できない脾臓の症例が多く、脾臓の手術にも多く参加させていただきました

た。術前・術後管理においても多くを学び、今後につながる貴重な財産になったと思います。また他科の先生方にも、気軽に相談に乗っていただき大変お世話になりました。

またコメディカルスタッフの方々、検査・事務スタッフの方々にも大変お世話になりました。非常に働きやすい環境で、病院の雰囲気にも慣れてきた頃であったので、病院を離れないといけなひのは非常に残念です。

2021年4月から熊本大学病院に異動になります。この一年間で得た経験を糧に今後も精進していきたいと思います。

1年間という短い期間ではありましたが、先生方、スタッフの皆様に感謝しております。ありがとうございました。



外科

ひらお ひろき
平尾 洸樹

2020年4月から2021年3月までの1年間外科で勤務をさせていただきました。自分は熊本大学病院小児外科・移植外科に所属しており、一般外科を学ばせていただくために

外科で業務を行ってきました。外科の先生方は紳士的で指導熱心な方ばかりで、手術手技はもちろん、術前術後管理においても、今後外科医として自分が働いていくにあたって重要な事項を学習させていただきました。他科の先生方にも快く相談を受けてい

ただき、大変お世話になりました。看護師の方々をはじめ他職種スタッフの方々にも、急な変更や調整をお願いする場面が多々ありましたが、嫌な顔一つせず協力していただける方ばかりで働きやすく、感謝しております。医師会立の病院職員として、地域の医院の先生方と協力して診療を行うことで、地域社会における医療がいかに医院やその他施設のスタッフの方々に支えられているかがよく分かり、大変勉強になりました。これからは県内で小児外科、移植外科として外科的治療が必要な小児、肝移植が必要な方々の診療を行っていきます。短い間でしたが大変お世話になりました。



放射線科

はやし ひでたか
林 英孝

2020年度より1年間お世話になりました放射線科の林と申します。

当院は医師会の先生方から多数の検査読影依頼をいただいています。明解な読影レ

ポート、画像の提示から次の検査の提案まで詳細なレポートを心がけ業務にあたりました。医師会の先生方にはいつも詳細な病歴を記載いただき大変感謝しております。画像診断に精通されている松川先生、矢村先生には温かく論理的なご指導をいただき、とても勉強になりました。腹部領域の豊富な検査件数

は今後の放射線科人生に生きてくると思われます。またIVR分野に関しては消化器内科原岡先生ご指導のもと肝動脈化学塞栓療法を多く行うことができました。ありがとうございました。

毎日の検査に関しては当院の読影スペースはCTやMRIを撮影している放射線技師の方々、患者さんに問診をとる看護師・秘書さんとの距離が近い場所にあります。撮影の範囲やプロトコル、追加で必要な情報など互いにコミュニケーションがとれ、最適な検査・正確な読影につながっていると思います。

1年間という短い間でしたが、微力ながらも当院の役に立てていたのであれば幸いです。今後ともよろしくお願いいたします。



小児科

おおむら れいか
大村 怜佳

昨年10月から半年間、熊本地域医療センターで勤めさせて頂きました。短い間でしたがアットホームで働きやすい環境だったため、異動となることが名残惜しく思います。

親身に指導して頂いた上級医の先生方、コンサルトさせて頂いたり気さくに声をかけて頂いた医局の先生方、不慣れな事も多く御迷惑を沢山おかけしたにも関わらず、親切に対応して頂いたスタッフの方々、

本当にお世話になりました。コロナの影響もあり小児科は例年と比較して患者数が減少しておりましたが、1症例1症例を丁寧に診ることができ、またこれまで経験したことのない症例も担当する事ができて勉強になりました。

来年度4月からは福田病院のNICUで勤務を予定しております。新生児を主に診るため、小児救急やアレルギー疾患を中心とした当院とはまた雰囲気は異なりますが、当院で経験したことや学んだことを大切にしながら精進して参りますので今後とも宜しくお願い申し上げます。



皮膚科

さわだ りえ
澤田 利恵

2020年4月から2021年3月までの1年間、勤務させて頂きました、皮膚科の澤田利恵と申します。

4月に勤務を開始し、新しい環境に慣れるより先に、コロナウイルスの影響で外来の一時閉鎖などがあり、それ以後も、特に前半は、なにかとそれに振り回されていたような気がします。そんな、病院にとっても自分にとっても大変な年でしたが、気がつけば

あっという間に1年がすぎさろうとしており、コロナウイルスも以前よりは落ち着いているようです。このまま終息してくれればと願うばかりです。

地域医療センターは、各科の垣根が低く、すぐに相談しやすい、連携のとれた病院だと思います。又、皮膚科の市原先生にもご指導やfollowをしていただき、感謝しています。1年間という短い期間ではありましたが、地域医療センターに勤務でき、とても勉強になりました。この病院で学んだことを財産とし、今後も頑張っていきたいと思います。1年間、お世話になりました。病院の益々の発展をお祈り申し上げます。



研修医

こいずみ だいかい
小泉 大海

昨年4月より1年間、熊本地域医療センターにて初期研修をさせていただきました。振り返りますと、1年目ということもあります。私自身の要領の悪さも相まって、指

導していただいた先生方や他の医療従事者の皆さんにご迷惑をかけ続けた1年間だったなあ、という思いでいっぱいです。当院で学んだことを今一度復習して来年度以降に活かしていきたいと思っております。

また、今年度は新型コロナウイルスの流行によって、世の中にとっても当院にとっても大変な1年でした。ICTの皆さんを始めとして感染対策に奮闘されているお姿を見て、また自分も発熱の患者さんを見させていただいて、感染症の怖さや対応の難しさを実感いたしました。ワクチンの普及などによって終息に向かうことを祈るばかりです。

4月からは大学病院での2年目の研修となります。色々と市中病院との違いや、戸惑うことも出てくるかとは思いますが、患者さんのためにできることを精一杯やっていこうと思います。1年間本当にありがとうございました。

コロナ禍の薬剤部

薬剤部 よこ た たかし
横田 崇



平素より大変お世話になっております。薬剤部門の業務体制を維持するため重要な事柄として、①業務中及び日常での感染対策、②日々の健康管理と体調管理・業務時行動履歴の記録、③十分な医薬品在庫の確保、④薬剤に関する情報の入手と共有などが挙げられます。具体的には、①と②各スタッフの感染予防策の徹底（手指衛生の実践・マスク等の着用・環境整備及び換気）と休憩時の過ごし方の工夫（時間帯が集中しないように休憩時間・場所を分散）、日常生活での留意点について、部内の朝礼等で適宜伝達・共有する、部内のスタッフが体調不良等で自宅待機となった場合に業務に支障が生じないための業務分担・代行の体制を整える、③流行状況によっては医薬品（特に手指衛生や環境消毒で使用する消毒剤）の入荷が遅延する可能性も考えられるため、これまで以上に在庫・使用状況に注意を払い早めの発注・入荷を行う、④新型コロナ禍の影響により、

製薬会社や研修会等での医薬品関連情報が以前と比べて入りにくい状況が続いているため、インターネット等を活用した情報収集を能動的に行うこと、等が重要となります。中でも、例年と比べて健康管理・感染対策を始め、消毒剤の在庫の確保・管理と医薬品情報の入手については特に留意が必要であり、「もしも…であったら（となったら）」ということを考えながら未然に対策を行うことが重要と感じました（「もしも…の薬品の需要が増加したら、供給不足となったら」、「…という状況となり、…の薬剤に関する情報が必要となったら」など）。今後も医薬品を取り扱う立場から業務体制の維持に努めて参ります。



熊本地域医療センター勉強会のお知らせ

日時／2021年5月24日(月)

19:00～20:00

形式／ハイブリット方式 オンライン参加 or 会場参加
オンライン参加：ZOOM 会場参加：2階多目的ルーム

※会場参加を希望される方は、事前に申し込みください。人数制限によりご案内できない場合がございます。
※申し込み案内は熊本市医師会ニュースにてお知らせいたします。
※ COVID-19拡大の状況によって、開催形式の変更（オンライン参加限定）になる場合がございます。予めご了承ください。
※予定が変更になる場合がありますのでご注意ください。

①症例報告

「著明な領域リンパ節腫大を伴う小腸腫瘍の1例」

外科 黒田 大介 医師

②特別講義

「急な糖尿病の発症や悪化時に考えること（仮）」
CC76：糖尿病

糖尿病代謝内科 笹原 誉之 医師



熊本地域医療センター

■医師へ直接紹介される方はこちら

☎096-363-3311(代表)

■何科に紹介するか迷っている場合はこちら

※ベテラン看護師が対応いたします！

(平日9:00～17:00) ☎096-372-0600

■画像診断・内視鏡などの検査予約はこちら(連携室)

☎096-366-1323

編集後記

Y 新緑の季節となりました。友達の輪～Relay トーク第10弾は森下祐子先生に書いていただきました。出勤協力の際にバトンを渡していただいたとのこと、ありがとうございました。病院をあげてコロナ対策を講じていますので、引き続き患者さんのご紹介をお願いします。

K 新学期が始まり、息子の体操服のゼッケン。花嫁修業と思い、娘につけさせたと、かなり上の場所に縫いつけられていた。娘は、「よかよか、似合ってる！」と、ドヤ顔。どう見ても、不釣り合い。息子は、姉に従うしかなくダンマリ。しかも、3枚も…私が縫い直せばいいのですが、心の中で「息子よ、ごめん」とつぶやいた。

H 新年度に入り、今年も新入職員が入職しました。新人さんを見ると私もあんなに初々しかったなと思い返します。なんだかだいが昔のことのような気がします。(入職3年目...)先輩としてしっかり手本となるよう自覚を持ち業務に励んでいきます。